

西多摩農業改良普及センターからのお知らせ

～農作業時の熱中症対策を徹底しましょう～

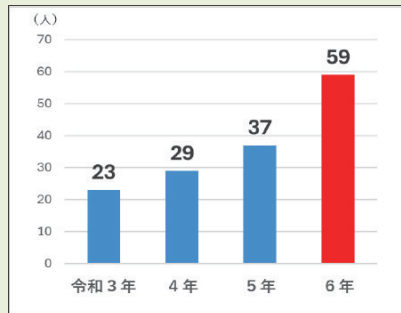


主事 岡村 亮

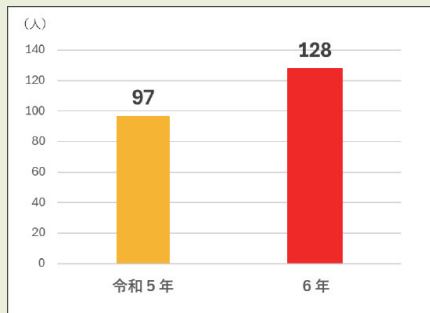
近年、農作業中の熱中症等による死亡者数が増加しています。また、令和6年の5月～9月は熱中症以外にも高所からの転落や草刈り作業中等の事故が増加しており、夏場の高温による疲れなどが、事故発生の一因とも言われています。

※右図参照

熱中症による死亡事故者数



5月～9月の熱中症以外の死亡事故者数



※農林水産省「農作業死亡事故調査」(令和8年2月26日発表)より

被服の色の違いによる温度比較結果

非接触で温度測定できるサーモグラフィーカメラを活用して、帽子、シャツ、ズボン、足袋について、色の違いによる温度調査を行いました。

【調査概要】

実施日：令和7年7月31日(晴天) 13時40分頃より測定開始

気温：35.8℃ ※温度記録計により表面温度を測定

着用被服：A氏…黒色系帽子、黒色系シャツ、灰色系ズボン、黒色系足袋

B氏…銀色系帽子「涼かちゃん」、白色系シャツ、白色系ズボン、白色系足袋



(白系) (黒系)

【結果】①測定開始時(13時40分頃) ※▼:A氏(黒系)とB氏(白系)の温度差

	帽子(℃)	シャツ(℃)	ズボン(℃)	足袋(℃)
A氏(黒系)	34.4	40.9	42.8	47.0
B氏(白系)	32.8 (▼1.6℃)	32.5 (▼8.4℃)	38.1 (▼4.7℃)	39.4 (▼7.6℃)

②測定開始から15分後(13時55分頃)

	帽子(℃)	シャツ(℃)	ズボン(℃)	足袋(℃)
A氏(黒系)	47.0	41.9	43.4	53.6
B氏(白系)	34.6 (▼12.4℃)	34.2 (▼7.7℃)	39.6 (▼3.8℃)	40.2 (▼13.4℃)

いずれの被服も白系が黒系より温度が約4～13℃低くなることがわかりました。

●令和7年6月より、労働者を雇用する全ての事業者（農業者を含む）に対して、労働者への熱中症対策が義務化されています。

☞雇用する事業者は、「早期発見のための体制整備」、「重篤化を防止するための実施手順の作成」を行い、その内容を関係作業者に周知する必要があります。

※労働者を雇用していない農業者でも、家族内従事者等に対する周知に努めてください。

●農作業中は、「2人以上で声を掛け合う」、「時間を決めて休憩と水分補給をする、喉が渴いていなくても水分を取る」等の熱中症予防を徹底してください。また、一人で出掛ける時は、家族に行先を伝えておくことも重要です。これらのことが「東京農業の働き方ガイドライン」にも掲載されています。